

sangetsu Joy of Design

日装連新聞

発行所 日本室内装飾事業協同組合連合会 Japan Interior Decoration Association (JIDA) 105-0003 東京都港区西新橋3-6-2西新橋企画ビル8F Tel(03)3431-2775 Fax(03)3431-4667 月刊 毎月15日発行 購読料 年間2,400円 1部200円

日装連 第50回通常総会開く

3期目、理事長に西浦光氏

賃金アップ、技能を高める 努力し汗した者が報われる業界を

日装連は6月10日、「第50回通常総会・懇親会」を八芳園(東京・白金台)で開催した。西浦光氏が3期目の理事長に再選された。

総会は、物故者へ出席者一同が黙祷を捧げた後、事務局が総会の成立を報告し、富澤宏副理事長が開会を宣言した。挨拶に立った西浦理事長は熊本地震の被災者にお見舞いを述べた。日本



日装連の西浦光理事長

防炎協会との関係強化を強調し、防炎・防火講習会を実施し内装工事業の存在意義を高めていくとした。地方の疲弊状況について言及し、地方でも問題化している空き家問題に触れて「これからリフォーム、リニューアルが重要になり、取り組むための体制づくりが重要な課題となる」と述べ、人口減少による地方の衰退の中で、「自社をどのよ

うに守り、育てていくか。これに対応できる力量がトップに必要なこと。日装連としては組合員の皆さんの仕事に少しでも役に立ち、様々な技術、技能の向上に全力を投入していく」と挨拶を結んだ。

第8号議案の理事・監事の改選及び相談役・顧問の選出に移り、選挙委員会が新役員候補23名を選出承認された。その後、第198回理事會を開催し、理事長並びに副理事長、相談役、顧問を選出し、新理事長には前理事長の西浦光氏を再選した。次いで平成28年6月で退任する日装連役員8名に、西浦理事長が感謝状及び記念品を贈呈した。西浦新理事長は再任の挨拶(要旨)を述べた。「3期目の理事長に選

出されたのは、来年の日装連50周年記念式典を大成功させるために力を尽くしてほしいという皆さんの強い御意向だと思えます。また、私どもが生き残っていくため、各組合のトップの方々は内装工事業としての自覚を持っていただきたい。組合員のために色々な資格に挑戦していきます。内装士制度の厚生労働大臣認定資格化、乾式工法技士制度の国家資格化にも取り組ん引き続き取り組んでいく。内装工事業基幹技能者が関わる物件に

改革の成果が上がっているが、厳しい市場環境の中で、自分たちが自ら立ち上がって行動し成果を上げていくと述べ、「2020年以降、さらに今より厳しい状況がでてくるが、それへの対応が求められる」と指摘した。(一社)建設産業専門団体連合会の才賀清二郎会長は「これから厳しい市場環境を迎えるが、我々が知

恵と汗を出さない限り、打開できない。団体活動をまとめて大勢の力で変えていく必要がある。2007年政策大綱がだされてから、多くの問題解決の提案が出されるが、一つでもいいから、我々専門工業者が生き延びられる施策を作るべきだ」と挨拶した。来賓挨拶後、6月で退任する役員8名が挨拶した。乾杯は(公財)日本防炎協会の丸山浩司理事長が音頭をとり、出席者は歓談に移った。中締めを(株)サンゲツの安田正介社長が行った。

日装連のキャラクターマーク インドリア・TORI・KAERU 日本室内装飾事業協同組合連合会



通常総会

懇親会を開催

日装連は総会終了後、組合員、建設業界関係団体、賛助会員企業等を集めて懇親会を開催した。司会を川瀬副理事長が務めた。西浦理事長が挨拶に立ち、6月9日に石井啓一国土交通大臣へ陳情し、内装業者の置かれた苦しい状況を直に訴えたと



(一財)建設産業振興基金の内田俊一理事長



(一社)建設産業専門団体連合会の才賀清二郎会長



(公財)日本防炎協会の丸山浩司理事長



(株)サンゲツの安田正介社長

立川ブラインド工業株式会社. ファブリック製品がリニューアル. ロールスクリーン ラルク NEW. タテ型ブラインド ラインドレープ NEW. 全30柄280アイテムの多彩なスラットラインナップ. おそろいの柄で楽しくコーディネート.

平成28年度・29年度 日装連の新役員

第50回通常 総会で選出



角田 健(埼玉)



和田則雄(福岡)



副理事長
川瀬修一(愛知)



理事長
西浦 光(香川)



理事
五十嵐幸雄(北海道)



専務理事
山崎正通(日装連)



小坂田達朗(大阪)



富澤 宏(東京)



河島 晃(岐阜)



宮崎正行(富山)



渡邊弘一(神奈川)



菊池一成(宮城)



竹内 剛(広島)



濱田正和(兵庫)



今井憲明(京都)



鈴木英治(愛知)



監事
久保田清(群馬)



當眞嗣秀(沖縄)



関山豊光(福岡)



吉永光男(高知)



相談役
千葉哲朗(日装連)



員外監事
中浦 進(日装連)



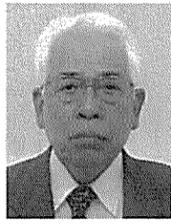
永田晴久(佐賀)



大原善彦(長野)



顧問
安田貴一(日装連)



久原正男(日装連)



椎津忠三(日装連)



古畑今朝幸(日装連)

日装連行事

6月
15日～17日 登録内装
仕上工事基幹技能者講
習会沖組会場(カルチ
ヤリリゾートフェスト
1ネ)

7月
27日 日装連50周年記
念特別委員会

6日～8日 登録内装

28日 登録内装仕上工
事基幹技能者試験委員
会・講習委員会

8月
3日～5日 登録内装
仕上工事基幹技能者講
習会東京会場(日本消
防会館)

9月
10日 新聞編集会議

26日 常任理事会
おさか)

10月
7日 平成28年度(第
34次)内装士資格検定
試験

13日 新聞編集会議

25日 日装連理事・全
国組合理事長会

26日～28日 ジャパン
テックス2016

31日 総務委員会

2日 監事会

8日 内装士・教育資
格委員会

9日 新聞編集会議

29日 常任理事会

12月
13日 新聞編集会議

19日 常任理事会

29年10月
4日 日装連50周年記
念式典(八芳園)

OPEN!
Brand-new Style
あたらしい毎日、あたらしいスタイル、はじまる。

Premier
Curtains Providing Happiness & Smiles

日装連平成28年度事業計画

I. 方針

我が国の経済は平成28年の年初来の株安、円高や、熊本地震の影響等により、各企業の業績は一時の勢いが無くなってきているように見えますが、その中で建設業界だけはどのゼネコンも史上最高益の好業績を残しております。しかしその好業績も、建設業を根底から支える、我々内装仕上工事業者には届いておりません。

II. 事業

【総務委員会】

1. 組合員及び賛助会員の増強を図るために、常任理事会並びに各委員会と連携し、施策の検討を行う。
2. 平成28年度の決算報告の承認を行う。
3. 平成29年度の予算案の承認を行う。
4. 日装連全組合員に対する、日装連としてのアンケートについての検討を行う。
5. その他、総務委員会に関する事業を行う。

【防災・施工管理委員会】

1. 防災ラベル、防火壁装ラベルの普及促進と支給業務について一層の徹底を図る。
2. 消防法、建築基準法内装施工に関する情報を総務省消防庁、(公財)日本防災協会、国土交通省、(一社)日本壁装協会等より収集し提供する。
3. 一般消費者向けの、防災物品・防災製品PRのための講習会等を行い、日装連並びに日本防災協会の協力を得て行う。
4. 登録内装仕上工事基幹技能者に関する登録講習を、佐賀(鳥栖)、沖繩、静岡、東京、大阪の合計5か所以上での開催の支援を行う。また5

日装連平成27年度事業報告

【総務委員会】

1. 平成27年度の決算内容についての承認を行った。
2. 平成28年度の収支予算(案)を承認した。
3. 日装連事業活動の円滑な運営を図るために平成28年2月5日、全国24組合を対象に「組合事務局長等連絡会議」を開催し、17組合が参加して諸課題の解決を行い懇親を深めた。

【防災・施工管理委員会】

1. 防火壁装施工講習会を45組合で合計74回開催し、3138名が参加して、防火壁装施工管理講習会を行った。
2. 防火壁装施工講習会を45組合で合計74回開催し、3138名が参加して、防火壁装施工管理講習会を行った。
3. 2回目となるジャパンデコレーターストレストレスにおける技能者のデモンストラショを日本室内装飾事業協同組合連合会と(一社)日本内装仕上技能士会連合会との共催で行い、日装連として壁装、カーベット、プラスチック、乾式工法、カーテン(窓装飾)の5つの技能のデモンストラションを3日間行い、これについては内装士・教育資格委員会が中心となり、関係する委員会と共に協力を行う。
4. その他、情報・流通委員会に関する事業を行う。

【青年部・次世代委員会】

1. まだヒアリング会を開催していない、北海道ブロックと沖縄ブロックについてヒアリング会を行い、それぞれの地域での特性を生かした青年部・次世代委員の活動の援助を行う。
2. 関東ブロック青年部・次世代委員会、近畿ブロック青年部・次世代委員会が2年続けて行った、関東ブロック青年部・次世代委員会主催の「経営セミナー」を、その他のブロック組合でも行えるように援助を行う。
3. 日装連が行う予定の、ジャパンデコレーターストレストレス事業への協力を図る。
4. 若手経営者や営業マンを対象に、海外研修の企画を行う。
5. その他、青年部・次世代委員会に関する事業を行う。

【50周年記念特別委員会】

1. 平成29年10月4日に日装連50周年記念式典が開催されるが、綿密な計画の下、すべての準備作業を確実に実行してゆく。
2. 前回までの中小企業庁長官表彰、経済産業省製造業局長表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰に加えて、国土交通省関係等の表彰を頂くように関係官庁、関連団体への働きかけを行う。
3. 記念誌の中には、青年部・次世代委員等の若い組合員の意見を盛り込んでいく。
4. その他、50周年特別委員会に関する事業を行う。

①内装士の活動状況等を広く業界内外に広報するとともに、内装士受験者数の増加を図る。

②昨年引き続き厚生労働大臣認定資格である「社内検定認定制度」に認可されるために、現在内装士制度の抜本的な改正を行い、WG会を中心にこの活動を厚生労働省に伝え、内装士・教育資格委員会の承認を得ながら、早期に認可を受けられるように交渉を行う。

③2回目となるジャパンデコレーターストレストレスにおける技能者のデモンストラショを日本室内装飾事業協同組合連合会と(一社)日本内装仕上技能士会連合会との共催で行い、日装連として壁装、カーベット、プラスチック、乾式工法、カーテン(窓装飾)の5つの技能のデモンストラションを3日間行い、これについては内装士・教育資格委員会が中心となり、関係する委員会と共に協力を行う。

④昨年引き続き厚生労働大臣認定資格である「社内検定認定制度」に認可されるために、現在内装士制度の抜本的な改正を行い、WG会を中心にこの活動を厚生労働省に伝え、内装士・教育資格委員会の承認を得ながら、早期に認可を受けられるように交渉を行う。

⑤本年は、平成28年度・平成29年度の「事務局長等連絡会議」開催については当面の間、開催しないことを決定した。

⑥総務委員会的重要なテーマである組合員の増強運動について、各地

での成功例等を参照しながらあらゆる角度からの討議を行い、次年度以降もこの課題に取り組んでゆく事を確認した。

5. 日装連の全組合員を対象の大規模なアンケートについての討議を行った。

3. 消防法並びに(公財)日本防災協会の指導の下、防火壁装講習会を、防火壁装施工講習会と必ず同時に開催する事を委員会決定し、常任理事会に答申した。これを受けて常任理事会において、防火壁装講習会の義務化を日装連として決定し、28年度からの実施となった。

4. 防火壁装講習会の開催に伴って、防火の部分について各組合の講師が分かり易く説明できるように、「防火壁装講習会テキスト」の改定と、「防火壁装講習会8つのポイント」のパンフレット作成を、防火壁装講習会の開始に間に合うように確認作業

を、承認した。

5. 本来なら平成29年度に行う予定の防火講習会講師養成講習会を、組合からの要請に応じて、東京、大阪の2か所で行った。

6. 登録内装仕上工事基幹技能者の資格取得のための登録講習会を、4月の鹿児島会場を皮切りに、神奈川、愛知、東京、東北(盛岡)、北陸(金沢)の合計9会場で開催し、日装連より合計50名が合格し資格取得者になった。これまでに日装連からは、更新者を入れて合計579名の方々が資格を取得している。

7. 国土交通省、建設関連団体指導の下、建設関連業種で進んでいる「社会保険加入促進」の

会員に分かり易く日装連の活動をPRできる体制を目指す。

2. 日装連ホームページの改良と、組合員に分かりやすいコンテンツの充実を図り、一般消費者等も含め、広く広報普及活動を行う。「日装連ホームページ」の認知度向上を目指す。

3. 啓発活動として、講演会、講習会、研修会等の開催を奨励すると共に、情報を収集して提供する。

4. 国土交通省の住生活月間に併せて10月に「インテリア月間」を実施し、「インテリアリフォーラムキャンペーン」を行う。

5. 日装連で商標登録

度(案)の改定等に取り組み、資格取得の早期実現を目指す。

この社内検定認定制度の専任者を鎌田研修指導員と定め、厚生労働省や関係者と緊密なる打ち合わせを行った。

2. 内装士資格試験の実技試験の作品の中から優秀な作品を選び、日装連理事長賞2点、内装士・教育資格委員会委員長賞2点の候補作品を、内装士認定審査会に提出して認められ、ジャパンデコレーターストレストレスの会場に展示した。

3. 乾式工法技士制度を厚生労働省の国家資格にするための挑戦を開始した。このため制度の抜本的な見直しに着手し、WG会を4回開催して様々な検討を行い、厚生労働省との折衝を行った。

また実技試験に使用する予定の試験台の作成も、厚生労働省及び中央職業能力開発協会との協力を得て、12月には都内の施工現場まで担当官に来ていただき、実際の施工状況の説明を行った。

この資格制度に協賛して頂く予定のメーカー5社(アイカ工業、サンゲツ、シーアイ化成、スリーエムジャパン、リンテック)を集め、第2回目の説明会を行い、今後の協力の賛同を得た。

4. ジャパンデコレーターストレストレスの改良を行い日装連で掲載出来る範囲を増やしていくコンテナの充実を図り、最新情報等の掲載を行った。

3. 啓発活動として、

提示する。

4. 昨年に2弾に渡って行った、関東ブロック青年部・次世代委員会主催の「経営セミナー」を、その他のブロック組合でも行えるように援助を行う。

5. 日装連が行う予定の、ジャパンデコレーターストレストレス事業への協力を図る。

6. 若手経営者や営業マンを対象に、海外研修の企画を行う。

7. その他、青年部・次世代委員会に関する事業を行う。

【50周年記念特別委員会】

1. 平成29年10月4日に日装連50周年記念式典が開催されるが、綿密な計画の下、すべての準備作業を確実に実行してゆく。

2. 前回までの中小企業庁長官表彰、経済産業省製造業局長表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰に加えて、国土交通省関係等の表彰を頂くように関係官庁、関連団体への働きかけを行う。

3. 記念誌の中には、青年部・次世代委員等の若い組合員の意見を盛り込んでいく。

4. その他、50周年特別委員会に関する事業を行う。

講演会、講習会、研修会等の開催を奨励すると共に、情報を収集して提供する。

4. 国土交通省の住生活月間に併せて10月に「インテリア月間」を実施し、「インテリアリフォーラムキャンペーン」を行う。

5. 日装連で商標登録

度(案)の改定等に取り組み、資格取得の早期実現を目指す。

この社内検定認定制度の専任者を鎌田研修指導員と定め、厚生労働省や関係者と緊密なる打ち合わせを行った。

2. 内装士資格試験の実技試験の作品の中から優秀な作品を選び、日装連理事長賞2点、内装士・教育資格委員会委員長賞2点の候補作品を、内装士認定審査会に提出して認められ、ジャパンデコレーターストレストレスの会場に展示した。

3. 乾式工法技士制度を厚生労働省の国家資格にするための挑戦を開始した。このため制度の抜本的な見直しに着手し、WG会を4回開催して様々な検討を行い、厚生労働省との折衝を行った。

また実技試験に使用する予定の試験台の作成も、厚生労働省及び中央職業能力開発協会との協力を得て、12月には都内の施工現場まで担当官に来ていただき、実際の施工状況の説明を行った。

この資格制度に協賛して頂く予定のメーカー5社(アイカ工業、サンゲツ、シーアイ化成、スリーエムジャパン、リンテック)を集め、第2回目の説明会を行い、今後の協力の賛同を得た。

4. ジャパンデコレーターストレストレスの改良を行い日装連で掲載出来る範囲を増やしていくコンテナの充実を図り、最新情報等の掲載を行った。

3. 啓発活動として、

提示する。

4. 昨年に2弾に渡って行った、関東ブロック青年部・次世代委員会主催の「経営セミナー」を、その他のブロック組合でも行えるように援助を行う。

5. 日装連が行う予定の、ジャパンデコレーターストレストレス事業への協力を図る。

6. 若手経営者や営業マンを対象に、海外研修の企画を行う。

7. その他、青年部・次世代委員会に関する事業を行う。

【50周年記念特別委員会】

1. 平成29年10月4日に日装連50周年記念式典が開催されるが、綿密な計画の下、すべての準備作業を確実に実行してゆく。

2. 前回までの中小企業庁長官表彰、経済産業省製造業局長表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰に加えて、国土交通省関係等の表彰を頂くように関係官庁、関連団体への働きかけを行う。

3. 記念誌の中には、青年部・次世代委員等の若い組合員の意見を盛り込んでいく。

4. その他、50周年特別委員会に関する事業を行う。

講演会、講習会、研修会等の開催を奨励すると共に、情報を収集して提供する。

4. 国土交通省の住生活月間に併せて10月に「インテリア月間」を実施し、「インテリアリフォーラムキャンペーン」を行う。

5. 日装連で商標登録

度(案)の改定等に取り組み、資格取得の早期実現を目指す。

この社内検定認定制度の専任者を鎌田研修指導員と定め、厚生労働省や関係者と緊密なる打ち合わせを行った。

2. 内装士資格試験の実技試験の作品の中から優秀な作品を選び、日装連理事長賞2点、内装士・教育資格委員会委員長賞2点の候補作品を、内装士認定審査会に提出して認められ、ジャパンデコレーターストレストレスの会場に展示した。

3. 乾式工法技士制度を厚生労働省の国家資格にするための挑戦を開始した。このため制度の抜本的な見直しに着手し、WG会を4回開催して様々な検討を行い、厚生労働省との折衝を行った。

また実技試験に使用する予定の試験台の作成も、厚生労働省及び中央職業能力開発協会との協力を得て、12月には都内の施工現場まで担当官に来ていただき、実際の施工状況の説明を行った。

この資格制度に協賛して頂く予定のメーカー5社(アイカ工業、サンゲツ、シーアイ化成、スリーエムジャパン、リンテック)を集め、第2回目の説明会を行い、今後の協力の賛同を得た。

4. ジャパンデコレーターストレストレスの改良を行い日装連で掲載出来る範囲を増やしていくコンテナの充実を図り、最新情報等の掲載を行った。

3. 啓発活動として、

提示する。

4. 昨年に2弾に渡って行った、関東ブロック青年部・次世代委員会主催の「経営セミナー」を、その他のブロック組合でも行えるように援助を行う。

5. 日装連が行う予定の、ジャパンデコレーターストレストレス事業への協力を図る。

6. 若手経営者や営業マンを対象に、海外研修の企画を行う。

7. その他、青年部・次世代委員会に関する事業を行う。

【50周年記念特別委員会】

1. 平成29年10月4日に日装連50周年記念式典が開催されるが、綿密な計画の下、すべての準備作業を確実に実行してゆく。

2. 前回までの中小企業庁長官表彰、経済産業省製造業局長表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰に加えて、国土交通省関係等の表彰を頂くように関係官庁、関連団体への働きかけを行う。

3. 記念誌の中には、青年部・次世代委員等の若い組合員の意見を盛り込んでいく。

4. その他、50周年特別委員会に関する事業を行う。

講演会、講習会、研修会等の開催を奨励すると共に、情報を収集して提供する。

4. 国土交通省の住生活月間に併せて10月に「インテリア月間」を実施し、「インテリアリフォーラムキャンペーン」を行う。

5. 日装連で商標登録

度(案)の改定等に取り組み、資格取得の早期実現を目指す。

この社内検定認定制度の専任者を鎌田研修指導員と定め、厚生労働省や関係者と緊密なる打ち合わせを行った。

2. 内装士資格試験の実技試験の作品の中から優秀な作品を選び、日装連理事長賞2点、内装士・教育資格委員会委員長賞2点の候補作品を、内装士認定審査会に提出して認められ、ジャパンデコレーターストレストレスの会場に展示した。

3. 乾式工法技士制度を厚生労働省の国家資格にするための挑戦を開始した。このため制度の抜本的な見直しに着手し、WG会を4回開催して様々な検討を行い、厚生労働省との折衝を行った。

また実技試験に使用する予定の試験台の作成も、厚生労働省及び中央職業能力開発協会との協力を得て、12月には都内の施工現場まで担当官に来ていただき、実際の施工状況の説明を行った。

この資格制度に協賛して頂く予定のメーカー5社(アイカ工業、サンゲツ、シーアイ化成、スリーエムジャパン、リンテック)を集め、第2回目の説明会を行い、今後の協力の賛同を得た。

4. ジャパンデコレーターストレストレスの改良を行い日装連で掲載出来る範囲を増やしていくコンテナの充実を図り、最新情報等の掲載を行った。

3. 啓発活動として、

提示する。

4. 昨年に2弾に渡って行った、関東ブロック青年部・次世代委員会主催の「経営セミナー」を、その他のブロック組合でも行えるように援助を行う。

5. 日装連が行う予定の、ジャパンデコレーターストレストレス事業への協力を図る。

6. 若手経営者や営業マンを対象に、海外研修の企画を行う。

7. その他、青年部・次世代委員会に関する事業を行う。

【50周年記念特別委員会】

1. 平成29年10月4日に日装連50周年記念式典が開催されるが、綿密な計画の下、すべての準備作業を確実に実行してゆく。

2. 前回までの中小企業庁長官表彰、経済産業省製造業局長表彰、全国中小企業団体中央会会長表彰に加えて、国土交通省関係等の表彰を頂くように関係官庁、関連団体への働きかけを行う。

3. 記念誌の中には、青年部・次世代委員等の若い組合員の意見を盛り込んでいく。

4. その他、50周年特別委員会に関する事業を行う。

講演会、講習会、研修会等の開催を奨励すると共に、情報を収集して提供する。

4. 国土交通省の住生活月間に併せて10月に「インテリア月間」を実施し、「インテリアリフォーラムキャンペーン」を行う。

5. 日装連で商標登録

度(案)の改定等に取り組み、資格取得の早期実現を目指す。

この社内検定認定制度の専任者を鎌田研修指導員と定め、厚生労働省や関係者と緊密なる打ち合わせを行った。

2. 内装士資格試験の実技試験の作品の中から優秀な作品を選び、日装連理事長賞2点、内装士・教育資格委員会委員長賞2点の候補作品を、内装士認定審査会に提出して認められ、ジャパンデコレーターストレストレスの会場に展示した。

3. 乾式工法技士制度を厚生労働省の国家資格にするための挑戦を開始した。このため制度の抜本的な見直しに着手し、WG会を4回開催して様々な検討を行い、厚生労働省との折衝を行った。

また実技試験に使用する予定の試験台の作成も、厚生労働省及び中央職業能力開発協会との協力を得て、12月には都内の施工現場まで担当官に来ていただき、実際の施工状況の説明を行った。

この資格制度に協賛して頂く予定のメーカー5社(アイカ工業、サンゲツ、シーアイ化成、スリーエムジャパン、リンテック)を集め、第2回目の説明会を行い、今後の協力の賛同を得た。

4. ジャパンデコレーターストレストレスの改良を行い日装連で掲載出来る範囲を増やしていくコンテナの充実を図り、最新情報等の掲載を行った。

3. 啓発活動として、

(3面からつづき)
また4月8日の1回目のセミナーの前に、青年部・次世代委員会の全体委員会を開催し、委員会終了後に委員にセミナーへ参加して頂き、セミナーの重要性への理解を深める企画とした。

2. 上記の経営セミナーの2弾目を、10月13日から5回に渡って開催し、参加者は23名であった。これにより、同様の経営セミナーを開催した

いブロック、組合からの要望に添える体制が出来上がった。
3. 11月18日に関東ブロック青年部・次世代委員会に引き続き、近畿ブロック青年部・次世代委員会主催の次世代フォーラムを東京ビッグサイト102会議室において行った。パネルディスカッション『内装業界は衰退産業なのか?』と、グループディスカッション『業界を次世代に繋ぐに』を開催し、想定を上回る200名が参加した。
【50周年記念特別委員会】
1. 50周年記念事業の開催日を平成29年(2017年)10月4日とし、場所は八芳園で行うことを決定した。
2. 記念事業は、特別講演会、記念式典、功労者表彰、記念祝賀会、記念誌の発行の5つを行うこととした。

3. 記念誌は五十周年記念行事も含めた内容として作成し、平成29年度中に関係各位に送付することとした。
4. 記念式典出席者については、事前登録制で各組合から400名以上、ご招待者100名以上で合計500名以上の規模にしたいとの意向が示され、目標に向かって今後体制を整えていくこととした。

二世全国消防機器協会が設立50周年記念式典開催
久保田清氏が表彰
一般社団法人全国消防機器協会は5月31日、明治記念館(東京・元赤坂)で「設立50周年記念式典(感謝状贈呈式・表彰式)」を開催した。日装連からは、久保田清氏(日装連理事、内装士・教育資格委員会委員長)が「平成28年度消防機器等関係者等表彰」を受賞した。同表彰は全体で51名が受賞した。
春の叙勲受章
瑞宝単光章
森健一氏(組副)
政府は先頃、春の叙勲・褒章の受章者を発表したが、日装連からは森健一氏(秋田組合)が技能検定功勞として、瑞宝単光章を受章した。
略歴 昭和21年2月20日、秋田県生まれ。現在、有限会社森内装の代表取締役。秋田県技能検定委員を、平成4年(13年)内装施工、カーペット系床仕上げ、プラスチック系床仕上げ、平成14年(22年)(表装(壁装作業))など務めた。

インテリア解体新書

インテリア文化研究所 本田 榮二



高級ホテルの豪華なカーペットが雲状に濡れている場合がある。濡れているのかと思いついて手で触れてみる。ところがカーペットはまったく濡れていない。このような経験をした方は多いはずだ。まさに狐に化かされたような話だが、これは一般的に起こるカーペット特有の現象である。カーペット業界ではこれを「雲現象」と呼ぶ。英語で「濃淡」「陰影」を意味する「シェーディング」と呼んでいる。

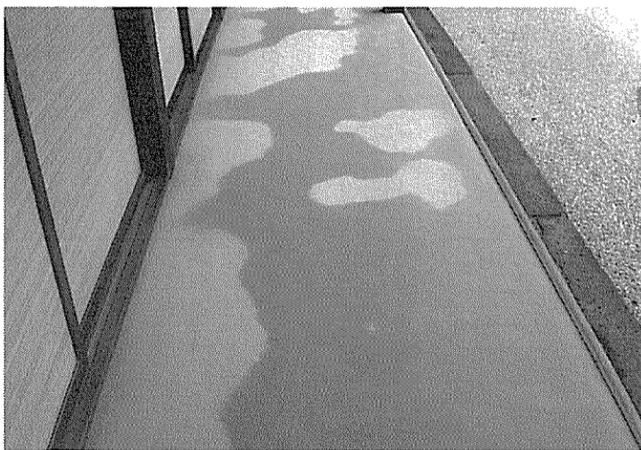
「雲現象もホテル施主のよつにカーペットに詳しくは...」

く、日常的に雲現象に遭遇している場合、カーペットの製造方法に関する説明が不足していることを理解している。クレームにはしない。個人宅では、事情が異なる。ところが個人宅の場合、素人だけに事情が異なる。先日も個人宅のカーペット工事を担当したA社が施主に呼ばれて張替を要求された。施主の剣幕に驚いたA社の社長は、メーカー担当者を伴って施主宅を訪ね、一時間以上、説明の末、ようやく納得してもらったが、「値引き」が伴ったことは言うまでもない。社長から頼末を聞いた。社長は納得してもら

は、「」を開催し、想定を上回る200名が参加した。50周年記念特別委員会
1. 50周年記念事業の開催日を平成29年(2017年)10月4日とし、場所は八芳園で行うことを決定した。
2. 記念事業は、特別講演会、記念式典、功労者表彰、記念祝賀会、記念誌の発行の5つを行うこととした。

線から、パイルの色相が違っているように見える現象。これはパイルの傾斜方向がある境界線から逆方向になっているため、雲のように見えることからこの名がある。ノーマルなカーペットの製造方法に、フテッド、織、編みなどの製造分類や施工方法に、関係なく発生する。特定現場で発生する傾向があり、使用場所における歩行の偏りや、床の不陸など複数の原因が複合して発生すると考えられるが、具体的な説明が肝要

ない。ノーマルなカーペットで雲の発生しない。カーペットの製造方法は世界的にも確立されており、クレーム対象にならないという見解が一般的である。A社のクレームを若干補足する。説明コピーを



旧侯爵邸の外廊下で発生した雲現象

読んだ施主は簡単に引き下りなかった。逆に「事前の説明責任の欠如」を指摘したという。「事前の説明があったらカーペットは選ばずにループパイルを選んだ。説明をサボってジョシした貴方達が悪い」という論法である。

私も立場上A社を応援したいが施主の主張にも一理ある。と言うのは民法570条、及び566条3項の「瑕疵担保責任」の存在である。法律では目的物の引き渡しを受けた後、隠れた瑕疵が判明した場合、一年以内であれば買主は契約解除又は損害賠償を請求できると明記している。

ただし私が知る限り雲現象が法廷で争われた記録はない。だが仮に訴訟された場合、事前説明を怠っていたら負けるのは必定であろう。何故ならカーペットの雲現象を理路整然と説明したところ、施主側が納得しなればクレームになるから

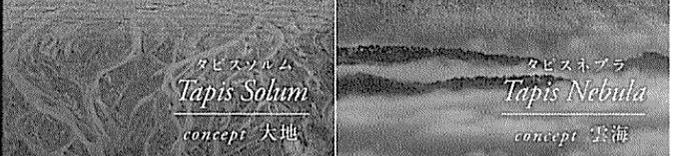
なぜ雲現象は発生するのか。原因に関しては百家争鳴で「磁場現象説」や「宇宙線説」という珍説まで飛び出している。そのぐらい原因特定は難しいが、分析すると幾つかの共通点に気づく。

まず第1点は冒頭で指摘したようにカーペット特有の現象で、ループパイルでは発生例が皆無。当然、パイルのないニードルパンチカーペットでは発生しない。第2点はカーペットを強く捻ってヒートセット加工したサキソニーは発生例が極めて少ない。第3点

はカーペットでも毛足が極端に長いシャギーはクレーム例が皆無。シャギーは始めからパイルが不均一に倒れこんでいるため目立たないからである。第4点は日当たりが良く、床の湿度が高く、不陸のある場所で発生するケースが多い。パイルが柔軟化して倒れ易くなるためである。第5点はパイル長4〜10mm程度のノーマルタイプのカーペットで集中的に発生している。

以上5点から導き出される結論は、何らかの事情で柔軟化したパイルが前後左右の歩行により、それぞれ集団を形成する形で逆の方向へ倒れこむことにより発生する。残念ながら現在の技術水準は雲現象の発生しないカーペットの製造法を確立していない。それだけに事前説明が肝要であろう。

「光線の方向や、見る角度によって、ある境界線から、パイルの色相が違っているように見える現象。これはパイルの傾斜方向がある境界線から逆方向になっているため、雲のように見えることからこの名がある。ノーマルなカーペットの製造方法に、フテッド、織、編みなどの製造分類や施工方法に、関係なく発生する。特定現場で発生する傾向があり、使用場所における歩行の偏りや、床の不陸など複数の原因が複合して発生すると考えられるが、具体的な説明が肝要



プレミアムカーペットタイル
TAPIS Texture
~自然が織りなす造形美~

TAPIS
Texture

タピソホルム Tapis Sohum concept 大地
タピネブラ Tapis Nebula concept 雲海
タピアンニス Tapis Annis concept 海流
タピルupes Tapis Rupes concept 岩肌

内装士・教育資格委員会

社内検定認定制度などを審議

日装連は6月1日、日装連会議室において、内装士・教育資格委員会を開催した。

小坂田担当副理事長、久保田委員長の挨拶の後、久保田委員長の司会進行のもと、会議次第に基づいて審議を行った。

最初に、平成27年度内装士・教育資格委員会の事業報告(案)が事務局より提示され、原案通り承認された。

続いて、10月7日(金)に行われる第34次内装士資格検定試験について事務局より説明があり、旧来の形で行う試験としては最後の試験であると想定され、来年以降は学科試験も実技試験も新しい形に変更されるであろう事が報告された。

次に、内装士制度を厚生労働大臣認定資格に格上げする「社内検定認定制度」についての厚労省との折衝の内容が報告された。

兼田研修指導員から資料に基づいて5月17日に行われた厚労省との打ち合わせについての説明があった。

10年ぶりに改定された平成28年4月施行の「新社内検定認定要領」と、今回の人事異動で顔ぶれが大きく変わった厚労省の職業能力検定官との交渉内容は、前任者からの伝達が上手く伝わっており、スムーズに進んだ。

ただし、今回の新要領に基づく資料の提出は新法に基づき直さねばならぬ

いが、新しくコンサルタントとして三菱UFJリサーチ社が選定されており、今後この会社と折衝を重ねて厚労省の要望に添えてゆく事となった、との報告であった。

続いて、乾式工法技士の制度の国家資格への格上げについての、厚労省との進捗状況が説明された。

厚労省には前日の5月31日に、西浦理事長、小坂田副理事長始めWG会のメンバーが挨拶に行っており、その内容も含めて兼田委員より説明が行われた。

前回お会いした方は仕事で出席できなかったもので、その上司の方々に乾式工法について、乾式工法の必要性等について説明

日装連は5月30日、第196回理事会を愛宕山東急REIホテル(東京・愛宕)において開催した。

審議事項は、通常総会提出議案として、①平成27年度事業報告(案)、②平成27年度収支決算(案)、③平成28年度事業計画(案)、④平成28年度収支予算(案)、第50回通常総会の開催日時、会場等、ブロックより推薦された平成28年度、29年度日装連役員候補(案)、各委員会委員候補者(案)等。

西浦理事長の挨拶の後、審議に入った。

平成27年度の事業報告、収支決算については、27年度様々な委員会事業を行った事、収支については3ラベル共に100%以上の実績であったので、特別積立金の増額、富士教育訓練センターへの寄付、50周年記念積立金等が出る決算であった事の説明が行われた。

原案通り承認された。平成28年度の事業計画については、内装士及び乾式工法技士の両制度の格上げ、防災防火講習会の義務付け、インテリアTORI-KAREUマートの活用、シャパンテックスにおける次世代フオーラム、技能のデモンストラクション等々すべての計画が承認された。

平成28年度の収支予算についても原案通り承認された。

委員会は、今後この会社と折衝を重ねて厚労省の要望に添えてゆく事となった、との報告であった。

続いて、乾式工法技士の制度の国家資格への格上げについての、厚労省との進捗状況が説明された。

厚労省には前日の5月31日に、西浦理事長、小坂田副理事長始めWG会のメンバーが挨拶に行っており、その内容も含めて兼田委員より説明が行われた。

前回お会いした方は仕事で出席できなかったもので、その上司の方々に乾式工法について、乾式工法の必要性等について説明

明を行い、7月に再度日装連事務所内にある試験台での実際の施工を関係者に見せる事となった。

委員会においては、今後各地における検定委員の育成に備えるための様々な施策および制度の整備

備が必要である事が認識され、今後WG会で詰め、今度、今年度のシャパンテックスで行う、技能のデモンストラクション計画についての説明があり、7月26日に第1回

の委員会を開催して計画を詰めてゆく事が報告された。

最後に、平成28年度事業計画(案)が読み上げられ、原案通り承認された。

今回の委員会が最後に、北原委員、鈴木委員、永田委員の3人から退任の挨拶があり閉会した。

【出席者】
小坂田達朗(副理事長)、大坂、久保田清(委員長)、群馬、渡邊幸地克忠(委員、沖縄)

林克己(委員、青森)、北原和(委員、長野)、石田金作(委員、愛知)、鈴木和(委員、大阪)、清水雅文(委員、鳥取)、永田晴久(委員、佐賀)、幸地克忠(委員、沖縄)

また、6月10日に八芳園において開催される、第50回通常総会の開催要領についての確認を行い、続いて、各ブロックから推薦された、平成28年度、29年度日装連役員候補(案)並びに各委員会委員候補(案)が示され、共に承認された。

これですべての議案の承認・可決が行われた事になったが、その後フリーミーキングの時間を取り、社会保険未加入等の問題など様々な意見が出され、活発な討議が行われた後に会議は終了した。

滋賀県室内装飾事業協同組合(清水正理事長)は5月25日、第42回通常総会を開催した。目玉は日装連の西浦理事長の講演だった。

西浦理事長は「時代の改革を捉える内装業界について」をテーマに講演した。西浦理事長は「業界の認知度を高め、高めるため、各社が営業力、施工力、経営力を強化しなければならぬ。また、建設労働者に適正賃金、適正工期を確保していく必要がある」と述べ、

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。



潮流

私が、この内装業界に入って45年。ふと、45年前と現在の大きな違いは何かと考えますと、クロスに関しても、床材に関しても、施工単価の大きな下落があります。何と約半値に近い施工単価になっております。

45年前と現在とは何が違うのでしょうか。クロスでは糊・下地処理剤・糊付機械の進歩、床材に関しては各種接着剤や副資材の向上等があります。

それらにより、施工能力のアップ

でも我々が扱う商材は、ほぼ半完成品の商材で、職人の手にかかり施工されて完成し商品となり納品されているのです。

ところが、元請からは、指値発注や工期の短縮など無理難題ばかり要求される事が常態化し、工期

第196回理事会

通常総会への提出議案審議

日装連は5月30日、第196回理事会を愛宕山東急REIホテル(東京・愛宕)において開催した。

審議事項は、通常総会提出議案として、①平成27年度事業報告(案)、②平成27年度収支決算(案)、③平成28年度事業計画(案)、④平成28年度収支予算(案)、第50回通常総会の開催日時、会場等、ブロックより推薦された平成28年度、29年度日装連役員候補(案)、各委員会委員候補者(案)等。

西浦理事長の挨拶の後、審議に入った。

平成27年度の事業報告、収支決算については、27年度様々な委員会事業を行った事、収支については3ラベル共に100%以上の実績であったので、特別積立金の増額、富士教育訓練センターへの寄付、50周年記念積立金等が出る決算であった事の説明が行われた。

原案通り承認された。平成28年度の事業計画については、内装士及び乾式工法技士の両制度の格上げ、防災防火講習会の義務付け、インテリアTORI-KAREUマートの活用、シャパンテックスにおける次世代フオーラム、技能のデモンストラクション等々すべての計画が承認された。

平成28年度の収支予算についても原案通り承認された。

委員会は、今後各地における検定委員の育成に備えるための様々な施策および制度の整備

備が必要である事が認識され、今後WG会で詰め、今度、今年度のシャパンテックスで行う、技能のデモンストラクション計画についての説明があり、7月26日に第1回

の委員会を開催して計画を詰めてゆく事が報告された。

最後に、平成28年度事業計画(案)が読み上げられ、原案通り承認された。

今回の委員会が最後に、北原委員、鈴木委員、永田委員の3人から退任の挨拶があり閉会した。

【出席者】
小坂田達朗(副理事長)、大坂、久保田清(委員長)、群馬、渡邊幸地克忠(委員、沖縄)

林克己(委員、青森)、北原和(委員、長野)、石田金作(委員、愛知)、鈴木和(委員、大阪)、清水雅文(委員、鳥取)、永田晴久(委員、佐賀)、幸地克忠(委員、沖縄)

また、6月10日に八芳園において開催される、第50回通常総会の開催要領についての確認を行い、続いて、各ブロックから推薦された、平成28年度、29年度日装連役員候補(案)並びに各委員会委員候補(案)が示され、共に承認された。

これですべての議案の承認・可決が行われた事になったが、その後フリーミーキングの時間を取り、社会保険未加入等の問題など様々な意見が出され、活発な討議が行われた後に会議は終了した。

滋賀県室内装飾事業協同組合(清水正理事長)は5月25日、第42回通常総会を開催した。目玉は日装連の西浦理事長の講演だった。

西浦理事長は「時代の改革を捉える内装業界について」をテーマに講演した。西浦理事長は「業界の認知度を高め、高めるため、各社が営業力、施工力、経営力を強化しなければならぬ。また、建設労働者に適正賃金、適正工期を確保していく必要がある」と述べ、

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

また、昨年度から滋賀組合が取り組んでいる「JAPANブランド補助事業」について、製造、流通、価格が重要になるとの助言を述べた。

次の世代のために

現状打破 五十嵐 幸雄

ブに十分な収入増になるはずが、そこに無駄な価格競争があり、逆に施工単価の下落につながり収入増にならず、職人としての魅力が半減し若い人の業界離れがあるのではと思います。

間に合わせるための職人増員や残業等が現状かと思えます。どうしたら現状を打破し、業界の環境を変え、これからの担い手へと「バトンタッチ」ができ、後継者不足や職人不足が解消されるべきかと思えます。

このことを実現するためには、日々多方面にわたり研鑽し、組合員の皆様、日装連の皆様と共に努力していかなければ、次世代につながる「内装工業界」になりえないと考えます。

最近、自分自身も年齢的に世代交代の時期がせままっている事を考えると、「何とかしなければ」と思うのは私だけでしょうか。

(北海道ブロック会会長、北海道組合理事長)

北海道組合 創立50周年記念式典・祝賀会を開催

北海道インテリア事業協同組合(五十嵐幸雄理事長)は5月27日、創立50周年記念式典・祝賀会をホテルライフオーソルで開催した。組合員や賛助会員、来賓など88名が出席した。来賓には日装連の西浦理事長をはじめ北海道の関連業界団体の幹部らが出席した。

五十嵐理事長が挨拶に立ち、50年の歴史の中で、オイルショックやリーマン・ショックなどさまざまな経済変動に業界も翻弄されてきたと振り返り、「事業自ら経営革新を図って環境変化に即応できる経営体質にする事が肝要」と強調。こうした努力によって「若者が未来への希望をもてる業界になり、後継者不足を打破できるのでは」と希望を示した。

次に来賓の日装連の西浦理事長が挨拶し、「今日は、オバマ大統領の来日と伊勢でのサミットがあり、当組合が50周年を迎え記念すべき日である」と述べ、業界の地位向上のために頑張ろうと語った。

記念祝賀会が開かれ、多くの賛助会員・来賓を交えて文字通りの祝賀ムードにあふれ、大変盛り上がりを見せた。

記念式典で挨拶する五十嵐理事長。隣りは日装連の西浦理事長。



北海道インテリア事業協同組合 創立50周年記念式典

通常総会開催、西浦理事長が講演



講演する日装連の西浦理事長

滋賀組合 滋賀県室内装飾事業協同組合(清水正理事長)は5月25日、第42回通常総会を開催した。目玉は日装連の西浦理事長の講演だった。

西浦理事長は「時代の改革を捉える内装業界について」をテーマに講演した。西浦理事長は「業界の認知度を高め、高めるため、各社が営業力、施工力、経営力を強化しなければならぬ。また、建設労働者に適正賃金、適正工期を確保していく必要がある」と述べ、

滋賀組合の清水理事長は「多くの組合員から、大変参考になり、勉強になったとの声が寄せられた。本当に良い講演をしていただいた」と話す。

水平リサイクルタイルカーペット「ECOS® (エコス)」
『ECOS LX-1000』シリーズ好評発売中!!

再生材比率 70%
CO2削減率 -32%

ECOS®
Resources for the future.
資源を未来へ。

ECOS LX-1900 リッチプレーン
ECOS LX-1000 ストライプ

セルスネットワーク
【販売】株式会社 スミエ
http://suminoe.jp/interior

【製造】住江織物株式会社



北海道ブロック

北海道

9日 第1回理事会案内を送信。
27日 第1回理事会を開く。
同日 第50回通常総会を開く。平成27年度一般経過報告等について審議。
同日 阿部雅司氏を講師に『金メダルへの道のり』と題した創立50周年記念講演会を開く。同日 創立50周年記念式典・祝賀会を開く。

東北ブロック

青森

12日 役員会を開く。
17日 技能検定受験者にトライアルの案内を送付。
同日 壁装及び防災講習会を開く。
24日 第42回組合総会・懇親会・内装士総会を開く。

岩手

12日 岩手県中小企業団体中央会の総会に細野理事長が出席。
13日 平成28年度通常総会を開く。総会前に、技能検定優秀者表彰を実施。総会終了後、懇親会を開く。

秋田

2日 日装連監事会に野口理事長が出席。
13日 理事会を開く。
18日 森健一 副理事長が瑞宝単光章を叙勲し拝謁。
同日 組合員に通常総会議案書を送る。

宮城

25日 岩手県職業能力開発協会の総会に細野理事長が出席。
20日 平成28年度通常総会・懇親会を開く。
26日 技能検定試験打合せを実施。

茨城

関東ブロック

9日 役員会を開く。
12日 茨城県中小企業団体中央会理事会に増淵理事長が出席。
27日 組合総会を開く。総会終了後に懇親会を開く。

栃木

10日 栃木県職業能力開発協会第41回理事会に上田理事長が出席。
13日 栃木県青年経営者中央会第42回通常総会・青年部講習会に上田理事長が出席。

新潟

8日 表具組合との合同壁装検定技能講習会を実施。1級5名、2級7名が受講。
17日 職業能力開発協会総会に樋浦理事長が出席。
18日 総会打合せを実施。

北信越ブロック

新潟

20日 新潟県表具内装組合連合会懇親会に樋浦理事長が出席。
24日 第41回通常総会、講演会、懇親会を開く。

富山

8日 関係団体事務所開きに宮崎理事長が出席。

石川

13日 三役会を開く。
19日 三役会を開く。
20日 総会前理事会を開く。

福井

20日 富山県技能士会連合会通常代議員会(総会)に宮崎理事長が出席。
26日 平成28年度前期技能検定検定委員会に川口理事が出席。
27日 定例役員会、第41期通常総会・懇親会を開く。
31日 富山県中小企業団体中央会通常総会に小倉専務理事が出席。

福井

同日 第46期通常総会及び懇親会を開く。平成27年度事業報告・収支決算報告及び剰余金処分(案)の承認等について審議。
22日 活路開拓事業ヒアリング審査について打合せを実施。
23日 活路開拓事業ヒアリング審査を実施。
同日 石川県技能士会総会に河端理事が出席。
同日 石川県建設産業連合会理事会・総会に宮本理事長が出席。
29日 技能研修会を開く。壁装9名、床7名を受講。福井県組合5名が見学。

長野

6日 三役会を開く。
9日 福井県職業能力開発協会長表彰(職業能力検定関係功労者)に元山内装工業(株)の元山和彦氏が受賞。
10日 創造経営セミナーに岡山理事が出席。
14日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告及び決算報告の承認等について審議。
同日 第42回通常総会記念懇親会を開く。

三多摩

13日 立川・多摩東地区ブロック会を開く。
16日 東装協通常総会に榎井理事長が出席。

山梨

同日 環境研究会を開く。第42回通常総会提議案等について審議。
24日 25日 「壁装の知識と施工実技」研修会を実施。スライド上映「壁張りの技法」(2)下地調整剤(材)等について講習。7社11名が受講。
31日 企画事業委員会を開く。秋の交流会の詳細について審議。

山梨

16日 第5回理事会を開く。第42回通常総会提議案等について審議。
19日 平成28年度全技連マイスター会山梨県支部通常総会に榎井理事長が出席。
同日 平成28年度山梨県技能士会連合会理事会・通常総会に榎井理事長が出席。
同日 山梨県職業能力開発協会第38回通常総会に榎井理事長が出席。
26日 第42回通常総会を開く。
27日 平成28年度前期技能検定水準調整会議に事務局1名が出席。

山形

25日 山形県職業能力開発協会の第38回通常総会に安孫子事務局長が出席。
27日 第174回理事會を開く。28年度総会資料等について審議。
同日 平成28年度組合通常総会を開く。平成27年度事業報告等について審議。

福島

20日 理事会を開く。
同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分(案)承認等について審議。
26日 福島県建築士事務所協会懇親会に本田理事長、川上専務理事が出席。

埼玉

同日 埼玉県職業能力開発協会第72回理事会並びに第39回通常総会に久保田理事長が出席。
同日 群馬県技能士会連合会第41回通常総会に久保田理事長、青木副理事長が出席。
同日 埼玉室内装飾事業協同組合第42回通常総会懇親会及び講演会に久保田理事長が出席。
31日 内装士・教育資格委員会WG会に久保田理事長が出席。
同日 平成28年度消防機器等関係者表彰に久保田清氏が出席。
同日 群馬県中小企業団体中央会第60回通常総会及び決算報告承認等について審議。

千葉

28日 福祉住環境コーディネーター2級検定試験受験対策講座を実施。7名が受講。

東京

10日 カーテン研究会を開く。9社17名、事務局1名が参加。
11日 厚生委員会を開く。秋の交流会の講演者選定について審議。
16日 正・副理事会を開く。5月定例理事会議題内容等について審議。
同日 定例理事会を開く。①組合員等加入・脱退承認(第58回通常総会等)について審議。
同日 第58回通常総会を開く。平成27年度事業報告承認等について審議。
同日 第58回通常総会を再開。外国人基礎級技能試験に中国実習生2名が受験。
同日 神奈川県中小企業団体中央会総会に渡邊理事長が出席。

神奈川

26日 第43回通常総会・懇親会を開く。
16日 東京組合通常総会に渡邊理事長が出席。
19日 第41回通常総会を開く。
23日 基礎級(2級)プラスチック系技能検定を実施。外国人基礎級技能試験に中国実習生3名が受験。
26日 技能検定実技試験運営会議を開く。技能検定実施要領について審議。
27日 基礎級(2級)プラスチック系技能検定を実施。外国人基礎級技能試験に中国実習生2名が受験。
同日 神奈川県中小企業団体中央会総会に渡邊理事長が出席。

中部ブロック

岐阜

12日 日装連情報・流通委員会に河島理事長が出席。
20日 静岡支部が総会を開く。平成27年度事業報告、収支報告の承認等

静岡

27日 28年度前期技能検定委員会を開く。技能検定実技試験の実施日程等について審議。

近畿ブロック

滋賀

16日 青年部が日帰りの研修旅行・懇親会を開く。
20日 青年部打ち合わせ会を開く。

大阪

25日 第42回通常総会・第1回理事会・講演会・懇親会を開く。総会開催後、日装連理事長西浦光氏の講演を実施。52名が出席。

京都

12日 「京都ものづくりフェア2016」実行委員会に参加。
13日 平成27年度会計監査を実施。

16日 技能士役員会を開く。
19日 理事会を開く。
20日 技能士会総会を送。

前の理事会を開く。同日 第42回通常総会を開く。平成27年度決算報告承認について審議。同日 懇親会を開く。

愛知

7日 愛知インテリアアカデミーを開校。
11日 技能検定打ち合わせ会議に藤井事務局長が出席。

12日 第326回理事事業を開く。入会、退会の承認等について審議。同日 職業訓練実技指導の事前打ち合わせを実施。

11日 技能検定試験説明会を実施。
16日 賦課金の引落とし処理を実施。

24日 京都府技能士会総会を開く。
25日 大阪組合総会に細井副理事長が出席。

28日 シュニア・コンフランス総会を開く。
8日 大阪組合主催の野球大会予選を実施。10チームが参加。

奈良

20日 第42回通常総会・懇親会を開く。

四国ブロック

徳島

12日 徳島県中小企業団体中央会理事会に織原副理事長が出席。
26日 徳島県中小企業団体中央会通常総会に織原副理事長が出席。

香川

9日 四役会議・会計監査を実施。総会資料の検討等を実施。
20日 第290回理事事業を開く。総会の式次第及び役割分担等について審議。

愛媛

10日 新規加入説明会を開く。2名が加入。
12日 平成28年度第1回中央会理事会に中村理事長が出席。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算書承認等について審議。

鳥取

19日 第43期通常総会を開く。平成27年度事業報告及び決算書承認等について審議。

25日 大阪組合懇親会に池田理事長が出席。同日 技能検定打ち合わせを開く。

和歌山

16日 技能士会総会に細川理事長が出席。
25日 大阪組合懇親会に細川理事長が出席。

中国ブロック

鳥取

同日 懇親会を開く。
23日 鳥取県技能士連合会の通常総会に、杉内理事が出席。

島根

同日 懇親会を開く。
23日 鳥取県技能士連合会の通常総会に、杉内理事が出席。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算書承認等について審議。

三河

18日 三役会を実施。同日 監査を実施。
23日 中小企業団体中央総会に高柳理事長が出席。

同日 三役会を実施。同日 監査を実施。
23日 中小企業団体中央総会に高柳理事長が出席。

三重

12日 第291回理事事業を開く。通常総会の開催及び決算書類の承認等について審議。
24日 三重県職業能力開発協会通常総会に事務局が出席。

福岡

9日 三役・総務委員会(予算委員会)を開く。
11日 決算事務説明会に菅事務局長が出席。

岡山

12日 中央会の理事・監事会に高田理事長が出席。
24日 職能協会のものづくりフェア実施協議会と技能検定打ち合わせ

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算書承認等について審議。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算書承認等について審議。

広島

11日 防火壁講習会を実施。12名が受講。
23日 広島県技能士会連合会理事会・総会に若山理事長が出席。

同日 広島県職業能力開発協会通常総会に若山理事長が出席。

九州ブロック

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算書承認等について審議。

福岡

同日 第1回理事会を開く。
13日 中央会総会に山田理事長が出席。

高知

12日 臨時四役会を開く。
19日 高知県中小企業団体中央会理事会に吉永理事長が出席。

同日 臨時理事会を開く。
20日 臨時理事会を開く。

同日 臨時理事会を開く。
20日 臨時理事会を開く。

佐賀

10日 WEB検討委員会を開く。
同日 青年部会議を開く。

同日 青年部会議を開く。
18日 佐賀県中小企業団体中央会総会に、今泉副理事長が出席。

長崎

23日 佐賀県職業能力開発協会総会に、永田理事長が出席。
26日 技能検定委員会に今泉氏、野中氏が出席。

熊本

11日 平成27年度会計監査を実施。
同日 三役会・理事会合同会議を開く。①第42回通常総会②地震対策等について審議。

大分

18日 県中央会通常総会に事務局員が出席。
26日 第2回理事役員会を開く。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

山口

20日 第42回通常総会を開く。
24日 山口県職能協会総会に横田専務理事が出席。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度会計・事業報告等について審議。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

18日 県中央会通常総会に事務局員が出席。
26日 第2回理事役員会を開く。

同日 第42回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿児島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

宮崎

9日 中央会青年部総会に秦会長、以下5名が出席。
14日 第43回通常総会を開く。

鹿児島

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議。総会後に懇親会を開く。

鹿儿島

27日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

同日 鹿儿島県中小企業団体中央会60回通常総会に小村専務理事が出席。

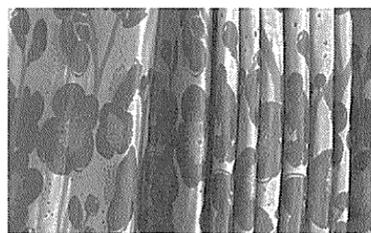
大分

13日 理事会を開く。同日 第47回通常総会を開く。平成27年度事業報告並びに決算関係承認等について審議

業界情報

テーマ「梅やわらかに 香り」

川島織物セルコン Sumiko Hondaの新作発表



「ジェノット」柄の
レッド色

川島織物セルコン(京都市左京区、山口進社長)は5月19日と20日、東京シヨールームで新作発表会を開催し、Sumiko Hondaの新作「ジェノット」コレクション「梅やわらかに」を発売した。今回の新作発表会では、デザイナーの本田純

子氏自ら新作のプレゼンテーションを行った。「梅やわらかに 香り」は梅と波をモチーフに取り上げる。大胆に梅が描かれた「ジェノット」は、イタリア語で「ふっくらした」という意味。梅の愛らしい咲く姿と、風雪に耐えた蕾が雪解け

のころからほころび始めるといった力強い一面を、梅の花と枝を共にデザインすることで表現した。また、同製品には風通織(二重織り)を採用。二枚の層を花びらや花粉のデザインで結合させ、ふわっと梅の香りがしてくるような感覚を、織物の構造でも表現している」と本田氏は語る。カラーは全4色。どれもしなやかなベースに対して、凹凸や光沢がある刺繍調のコントラストが特徴となっている。

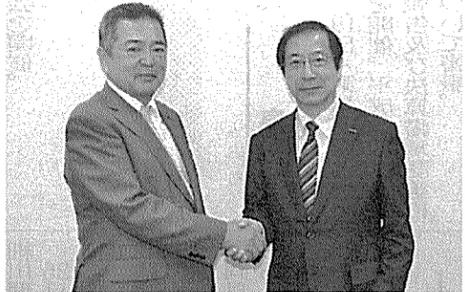
波のデザインが施された「リンフォルツァーレ」は、勢いのある流水をモチーフに抽象的に描く。従来の同ブランドでは、上から下へと縦に流れる分りやすい流水の柄を描いていたが、今回はたまりがある、おもしろい形をデザイン。より複雑な空間を演出する。同製品はレッド、イエロー、ブルー、グリーン、アイボリー色で展開した。

開。「ジェノット」の柄とコーディネートできる色合いを揃えたという。本田氏は「梅と波のデザインなので窓辺に

防水・床材・住宅建材の3事業一体化

田島ルーフィングと田島応用化学が経営統合

田島ルーフィング(東京都千代田区、田島国雄社長)と田島応用化学(東京都足立区、高城哲也社長)は、2016年12月21日を自処として経営統合することに合意、決定した。今回の統合の形態は、田島ルーフィングを存続会社とする合併として、統合新会社の会社名を「田島ルーフィング株式会社」とする。



田島ルーフィング(左)と田島応用化学(右)の代表者が握手している。

田島ルーフィングは1919年の創業以来、建築防水市場におけるリーディングカンパニーとして、また、1950年のPタイル生産から床材市場におけるパイ

オニアとして、製品・工法・サービスの高いレベルを認知されてきた。田島応用化学は住宅用防水材市場においてトップレベルの技術力、製品力を持ち、住宅建設に欠かせない存在として広く社会に貢献している。

この経営統合により、防水・床材・住宅建材の3事業が一体として事業展開を行う。また、事業を通じて、生産・物流体制の最適化や製品開発力・営業力の強化を実現し、強靱な経営基盤を確立する。

耐候・防滑性ビニル床シート

田島ルーフィングは5月23日、耐候・防滑性ビニル床シート「ビュージスタ」を新発売した。同シリーズでは、様々なシーンとニーズに合わせた商品をラインアップ。今回は、ビュージスタグラン、ビュージスタマルチ、ビュージスタサード、ビュージスタアラ、ビュージスタアクアを発売する。

そのほか、操作コードを引くだけでフラインド全体が自動的に降下する「フォレティアタッチ」ラインド「アフタービートタッチ」、装飾カーテンレール「ビバーチェ」一般カーテンレール「ファンテア」の新品を発表した。体感ゾーンでは、製品の遮蔽性・遮光性・操作性・施行性・安全性を体感できるコーナーとして新設。直接製品に触れて参加し、体感してもらおうと、楽しみながら機能性や意匠性を感じ取ってもらうことに注力した。

ビュージスタは、屋外の紫外線にも強い全品完全屋外対応。強靱な表面と中間層をガラス繊維で構成し、寸法安定性を向上させた。また、天井・壁・床の調和のとれた空間演出が可能な配色構成とし、多彩なデザインと機能性をラインアップする。

ビニル床シートは、開放感をはじめ、バルコニー、外部階段など集合住宅の外部空間で多く採用される。同社は、より多くのシーンで使用できるように、新色・新柄といった表面の形状だけでなく、狭小エリアの施工や荷揚げなどに配慮し、従来品より最大30%の軽量化を実現した。柔軟性も向上させることで、改修工事への対応も向上。居住空間を彩る自然色に調和する、落ち着いた色調のカラバリエーションは、多くの壁・天井・建具とのコーディネートが可能となっている。

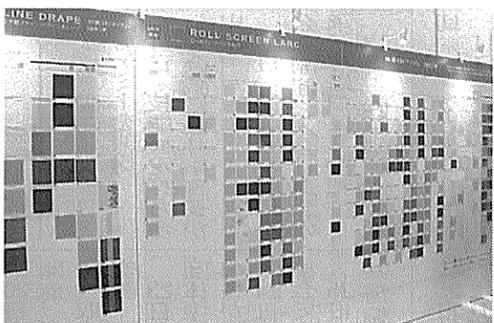
「ラルク」大幅に刷新

立川ブラインド 新製品発表会

立川ブラインド工業(東京都港区、立川光威社長)は5月19日と20日、都内で「2016年タチカワブラインド新製品発表会」を開催した。テーマは、「TOUCH」で、かんじて・さわって。展示会場を大きく「」。展示会場を大きく3つにゾーニングし、ホームユース・非住宅・体感ゾーンで構成した。ホームユースゾーンでは、6月1日に発売したロールスクリーン「ラルク」

とタテ型ブラインド「ラインドレープ」の新製品を中心に、製品の機能と用途を絡めた提案展示や、高機能製品の比較展示を行った。

ラルクからは、従来の「ラルク」を刷新した「ラルクシールド」を発表。「シールド」を装備することで遮光性が高まるとともに、製品との一体感を高め、優れた意匠性を演出する。シールドの部品色は



ロールスクリーン「ラルク」の新たな生地ラインナップを拡充

また、スライディッシュユタテ型ブラインド「ラインドレープ」の「アフタービートタッチ」の「ファンテア」の新品を発表した。体感ゾーンでは、製品の遮蔽性・遮光性・操作性・施行性・安全性を体感できるコーナーとして新設。直接製品に触れて参加し、体感してもらおうと、楽しみながら機能性や意匠性を感じ取ってもらうことに注力した。

そのほか、操作コードを引くだけでフラインド全体が自動的に降下する「フォレティアタッチ」ラインド「アフタービートタッチ」、装飾カーテンレール「ビバーチェ」一般カーテンレール「ファンテア」の新品を発表した。体感ゾーンでは、製品の遮蔽性・遮光性・操作性・施行性・安全性を体感できるコーナーとして新設。直接製品に触れて参加し、体感してもらおうと、楽しみながら機能性や意匠性を感じ取ってもらうことに注力した。

また、スライディッシュユタテ型ブラインド「ラインドレープ」の「アフタービートタッチ」の「ファンテア」の新品を発表した。体感ゾーンでは、製品の遮蔽性・遮光性・操作性・施行性・安全性を体感できるコーナーとして新設。直接製品に触れて参加し、体感してもらおうと、楽しみながら機能性や意匠性を感じ取ってもらうことに注力した。



フラッグシップモデル「ビュージスタグラン」

壁紙からはじめる
自由な空間

WALLCOVERING 2016-2018.5

RéSERVE

NEW

sangetsu
Joy of Design

株式会社サンゲツ 本社/名古屋西区稲下 1-4-1 Tel.052-564-3111

壁紙からはじめる
自由な空間

WALLCOVERING 2016-2018.5

RéSERVE

NEW

sangetsu
Joy of Design

株式会社サンゲツ 本社/名古屋西区稲下 1-4-1 Tel.052-564-3111

Online 最新ニュースは『日装連ホームページ』へ

NEWS

【ホームページ広告掲載各社】

- 川島織物セルコン
- スミノエ
- 田島ルーフィング
- 立川ブラインド工業
- 東リ

(敬称略、50音順)

日本室内装飾事業協同組合連合会(日装連)

「見える」防災・防火のある暮らし

検索

http://www.nissouren.jp